

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	認定こども園愛光こども園	施設種別	幼保連携型認定こども園 (旧体系：保育園)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成30年11月19日

総 評	愛光こども園は、JR木津駅から徒歩5分、園舎の入り口は公園敷地内にあり、安全な環境に立地しています。平成29年4月に保育園からこども園への移行を果たし、前身の保育園時代から数えて、第三者評価受診は三度目となります。 創立の理念「愛せよ、光の子となれ」は園名にも反映されており、キリスト教保育を創設時の幼稚園時代も含め92年間にわたり実践してきた歴史のある園です。永きにわたり同園の保育が継承され、卒園児が毎年遊びに来たり、卒園児の子どもや孫が入園されていることから、温かい園の雰囲気が保護者・地域の方々に浸透していることがわかります。また、保育士の待遇や勤務環境を整えようとする姿勢があり、園長はじめ職員が保育を楽しんでおり、笑顔に溢れていた姿が印象的でした。 法人が運営する他の二ヶ園と院内保育所との管理者会議を毎月開催し合同の研修会を開くなど、法人内施設間の連携を緊密に取りながら運営を進めています。
特に良かった点(※)	・毎朝、礼拝及びミーティング、午後1時から中間ミーティングを行なうなど、職員間の情報共有を丁寧に行なっており、職員懇親会を開くなど職員同士のコミュニケーションを図る機会を積極的に作っています。 ・全園児に登園時の検温を義務付け、園側は乳児の午睡前・午睡後の検温を実施、健康状態の把握に努めています。午睡時の観察、記録は3歳児まで行なうなど、異常にすぐ気づける環境を整えています。 ・不審者対策では、無音チャイムの合図（園内の職員のみが知っている合図で事務連絡のように放送される物）で即座に避難出来る練習が園児に浸透していて、安心感の高い保育を実現しています。 ・“ドキュメント”と題した写真とコメントで保育の様子をまとめた記録を作り、掲示して、保護者や地域の方々に見えやすく、分かりやすい保育の提供を心掛けています。
特に改善が望まれる点(※)	・法人の理念や基本方針の実現に向けて、中・長期的な目標や課題ごとに分析を行い、数値目標を設定する等、ビジョンを活かした中・長期計画及び中・長期収支計画を策定されるとなお良いでしょう。 ・第三者評価の評価結果で明らかになった課題について、継続的かつ計画的な改善がなされるとなお良いでしょう。 ・災害やプライバシー保護の規程、マニュアル類などは、各施設の実践を踏まえ、法人として作成されています。今後は、各施設の実践とマニュアルの内容が相乗的に豊かになっていくよう、実践スタッフの運用並びに活用の方法を具体的に構築されるとなお良いでしょう。

*それぞれの内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目ごとのコメント「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	認定こども園 愛光こども園
施設種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成30年11月19日

保育所評価基準 対比シート（H29年4月～）

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	b
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	c
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b

[自由記述欄]

・理念、基本方針は、重要事項説明書に明文化されており、継続入所家庭に対しては年度初めの懇談会の場で、また、新入園児家庭に対しては卒園式後に説明会を開催し周知を図っています。職員については、職員会議で内容を読み上げるなどして周知に努めています。（通番1）

・管理者会議（法人内各園長、事務長）を毎月開催し、人事採用・研修計画・保護者対応などについて法人内の意識統一を図っています。（通番2）

・法人の理念や基本方針の実現に向けて、中・長期的な目標や課題ごとに分析を行い、数値目標を設定する等、ビジョンを活かした中・長期計画及び中・長期収支計画を策定されるとなおります。（通番4）

・単年度計画はありますが、中・長期的計画は策定されていません。（通番5）

・日常の教育・保育活動を写真撮影し、子どもの活動の省察を行い、ドキュメンテーション（行動観察記録）として可視化し、より質の高い教育・保育を志しています。さらに、定期的に掲示したり、懇談会や保護者等が集う機会を活用したりすることで、子どもの育ちを共に見守り、喜びを分かち合うツールとして活かしています。（通番8）

・第三者評価の評価結果で明らかになった課題について、継続的かつ計画的な改善がなされるとなおります。（通番9）

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	b
		13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	②	総合的な人事管理が行われている。	b	b
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	b
	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	①	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b
		24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	b
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	C	b
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	C	b

[自由記述欄]

・毎朝、礼拝及びミーティング、午後1時から中間ミーティングを行なうなど、職員間の情報共有を丁寧に行なっており、職員懇親会を開くなど職員同士のコミュニケーションを図る機会を積極的に作っています。（通番11）

・長い歴史で培われてきた伝統を活かしながら、現代のニーズに応える新たな取り組みや保護者の意向を活かした活動等を検討し、試行錯誤される等、福祉事業の開拓性を発揮されとなお良いでしょう。（通番12）

・職員の意向を年1回ヒアリングする機会を作ったり、年に2回、同法人3ヶ園での交流会を持つなど、離職防止に繋がる工夫をしています。（通番15）

・決算書類については、WAM（福祉医療機構）と全国社会福祉経営者協議会のホームページに公開しています。（通番22）

・職員会議の記録は、欠席者にも情報共有できるよう工夫されるとよりよいでしょう。

・防災マップで浸水域に入る為、避難所としての活用は不可能ですが、それ以外の役割を担えないか検討しようとしています。（通番26）

・消防署・警察署・老人ホームなどと連携が取れており、地域の皆さんにも「夏の集い」などへの参加を呼び掛けています。（通番27）

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	b
		29	②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	a
		31	②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	a
		32	③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	a
		34	②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	a
		35	③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	a
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	a
		37	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b
		38	③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	b
		39	④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	a
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b	b
		41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	a
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	b

[自由記述欄]

- ・子どものプライバシー保護の規程・マニュアルは作成されていますが、周知に向けた取り組みを充実されるとなおいでしょう。（通番２９）
- ・利用希望者に対してパンフレット、ドキュメント、スライドショーなどを作成し、分かりやすく説明する努力をしています。（通番３０）
- ・保育の開始・変更にあたり上記に示した資料などを用いて、懇談会の場で丁寧に説明しています。（通番３１）
- ・苦情解決の仕組みは整備され、第三者委員などの連絡先を含め園内に掲示されています。第三者委員は京都経営者協会苦情（意見）処理ネットワークCCNに委託しています。（通番３３）
- ・意見箱を玄関に設置し、保護者の意見を聞き取る機会を積極的に作っています。（通番３４）
- ・危機対応サービス会社のコンサルティングにより保護者からの相談や意見に対して迅速に対応しています。（通番３５）
- ・危機対応サービス会社と提携して、リスクマネジメントのノウハウを取り入れる体制が作られています。ヒヤリハットの書式を園内で何度も見直し、５分前の状況も書き入れる欄を作るなど独自の書式を作っています。（通番３６）
- ・感染症の発生時に対応するために嘔吐・下痢の処理セットを準備されていますが、子どもの手の届かない場所での保管が望まれます。（通番３７）
- ・不審者対策では、無音チャイムの合図（園内の職員のみが知っている合図で事務連絡のように放送されるもの）で即座に避難できる練習が園児に浸透しており、避難準備が整っています。（通番３９）
- ・災害やプライバシー保護の規程、マニュアル類などは、各施設の実践を踏まえ、法人として作成されています。今後は、各施設の実践とマニュアルの内容が相乗的に豊かになっていくよう、実践スタッフの運用並びに活用の方法を具体的に構築されるとなおいでしょう。（通番４０）
- ・個別指導計画を０歳児～５歳児まで全園児分作成して、職員間で共有されています。（通番４４）

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-（1） 保育課程の編成	46	①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭 及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b	b
	A-1-（2） 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	b
		48	②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	b
		49	③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	b
		50	④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	b
		51	⑤	乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		52	⑥	3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		53	⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		54	⑧	障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		55	⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a
	A-1-（3） 健康管理	57	①	子どもの健康管理を適切に行っている。	b	a
		58	②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	a
		59	③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-（4） 食事	60	①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	b
		61	②	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	b

【自由記述欄】

- ・保育内容は、一人一人を大切に、同時に保護者の共通理解が得られるように進められています。（通番50）
- ・0歳児保育において、寝る前の検温・起きてからの検温、5分ごとの睡眠中の観察、記録をしています。（通番51）
- ・1、2歳児の保育において、寝る前の検温・起きてからの検温、5分ごとの睡眠中の観察、記録をしています。また、子どもが自ら遊びを選ぶ環境を整え、個別に丁寧な関わりを心掛けています。（通番52）
- ・園庭の遊び場は0歳から5歳が異年齢で遊び年齢の枠を超えた遊びの発展や交流がみられます。一緒に園庭を使う上でのメリットとデメリットについて分析を行い、安全性を高められるとよいでしょう。（通番53）
- ・児童保育要録には小学校の受領印を貰うようにしており、小学校と保護者の連携を図るように努めています。（通番56）
- ・全園児に登園時の検温を義務付け、園側は乳児の午睡前・午睡後の検温を実施しています。また、睡眠の記録は0歳児は5分毎、1～3歳児は10分毎に取り、うつ伏せになった場合はすぐに体調を変え、赤字で記録用紙に書き込み、詳細な観察と健康状態の把握に努めています。（通番57）
- ・温度計、湿度計を用いて、健康に留意した環境づくりに努めています。（通番57）
- ・2歳児は歯科健診をきっかけに歯ブラシを保育に取り入れ、使用しています。3歳児以上も歯磨を実施しています。（通番58）

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	項番	評 価 細 目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	①	保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

- ・送迎時には保護者と必ずコミュニケーションを取る努力をしており、個人面談の記録は職員で情報共有しています。（通番62）
- ・毎月月末に自己評価を行っていますが、今後は結果の活用に結びつけることが望まれます。（通番65）